



主体変容

新たな気持ちで「努力」の3学期!

1月1日に発生しました能登半島地震につきまして、大きな被害が発生しました。お亡くなりになられた方々に対しまして深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、3学期の始業式では「努力」についてみなさんに考えてもらいました。自分が立てた目標を達成するためには、主体的に変化を恐れず、日々の「努力」が必要です。皆で力を合わせて、より良く頑張りましょう!

今号では、生徒会及び各学年の代表の皆さんが力強く3学期の抱負を発表してくれましたので紹介します。

当たり前前のごとを当たり前前

3年4組 井上 昂汰郎

3学期は入試が近くなってきたので、残り少ない時間を有効に使って、希望校に合格できるように学習を欠かさず頑張ります。

また、学校生活については、高校生になることへの自覚を持ち、規則正しい生活を送ります。特に礼儀や挨拶、返事など当たり前前のごとを当たり前前にできる毎日を過ごしていきたいです。

先を意識した行動

2年4組 下城 蒼馬

令和6年の抱負について、学習は受験を意識し、テストがない時でも、授業の復習を行う等、苦手な教科を率先して、少しずつ学習を行っていきます。

部活動(野球部)については、6月の中体連が最後の大会になります。少しでも勝ち上がれるように日々の練習を丁寧に頑張ります。この2つを中心に元気な学校生活を送れるようにします。



初心に戻る

1年6組 西川 宗佑

2学期は学校生活に慣れ、気が緩んでしまいました。3学期は初心を思い出し、気を引き締めて目標に向かって頑張っていきたいです。

そのために、学級委員として、クラスのみんに思いやりのある声かけをし、みんなが過ごしやすい環境づくりを頑張ります。

また、けじめのある生活を行います。冬休みは少し、けじめがないこともありましたが、まとめの3学期は気を引き締めて、残り少ない3学期を頑張ります。

臨機応変に対応

生徒会議長(2年2組) 角田 柚羽

2学期の生徒会の活動について、締め切りや期限までの期間がギリギリになってしまい、慌てることがありました。早めに余裕を持てれば、ミスがあっても修正でき、もっとより良くてできると思います。3学期は余裕を持った行動を心がけていきたいです。

また、生徒議会では予定になかったこと、トラブル等が突然起こったりしました。全体をまとめるためには、状況を把握し、臨機応変に対応できる力が必要であると思いました。2学期の経験を生かして3学期はより良い生徒議会になるように心がけます。

生徒会執行部として新しく決定したスローガン「創」をもとに様々な取り組みを企画しますので、楽しい北部中になるように協力をお願いします。

